

# 平成24年度第1回 たつの市行財政改革推進委員会 会議要録

開催日時 : 平成24年6月28日 (木) 午前10時00分～

開催場所 : 市役所3階 第3委員会室

出席者 : 委員11名、市長、行政改革推進室長、事務局

## 1 会議内容

委 嘱

- 議 事
- (1) まちづくり改革プラン及び同実施計画の状況について
  - (2) まちづくり改革プラン実施計画の見直しについて
  - (3) その他

## 2 議事内容

### 議事(1) まちづくり改革プラン及び同実施計画の状況について

平成22年度決算に基づく本市財政状況とまちづくり改革プラン実施計画の取組概要について事務局から説明

#### 資料2 平成22年度決算主要指標一覧表

- (委員) 徴収率が県下で27位である原因は何か。
- (事務局) 滞納処分をどのくらい行ってきたかで差がでている。滞納処分を行うと滞納額は減ってくる。合併後たつの市ではシビアな対応をしてこなかったが、今は積極的に取り組んでいる。
- (委員) たつの市においてもきっちり処理していけば、徴収率が上がっていくのであれば、早急に対処すべきである。
- (委員) 平成23年度は24年度と比べてどうであったか。
- (事務局) 平成22年度現年度が97.9%滞納繰越が9.96%、平成23年度現年度が98.05%で滞納繰越が8.48%である。滞納分の徴収率は悪くなっている。
- (委員) 去年よりも悪くなっているのか。徴収方法は、振り込みだけでなく、集めに行っているのか。
- (事務局) 徴収には行っており、夜間徴収などにも取り組んでいる。
- (委員) 毎日行って、顔を合わせて話をするのが大切である。
- (委員) 税は5年で時効ということであるが、時効を待っている人もいるのではないのか。滞納額が増えてくると払う意思がそがれてしまう。個別の事情に応じて、納められる額を少しずつでも集めていくべきではないか。そうでないと不公平感が生じる。
- (委員) 差し押さえ後は競売にかかっていると思うが、他市に比べて甘いように思う。
- (事務局) 差し押さえしても換価できないと効果が上がらない。税務課ではインターネットのヤフーを使って競売にかけたり力を入れている。
- (委員) 力を入れているのに悪くなるのは何故か。
- (事務局) 担当課からは経済状況の悪化が原因と聞いている。
- (委員) 数字を上げるよう行革から税務課へ働きかけるべきではないか。
- (委員) 滞納世帯数はでていないのか。世帯数で徴収率を出せば順位が変わってくるのではないか。
- (事務局) 税務課内部ではデータとして持っているかもしれないが、世帯単位では、県下で比較する数字はない。

- (委員) 不納欠損処分を何故しないのか。
- (事務局) 所在不明等でどうしても払えないものについては処分するよう取り組んでいる。
- (委員) 横着で払わない人と、どうしても払えない事情のある人をきちんと分けるべきである。
- (委員) 本人の事情ごとにランク付けを行い、回収が見込めるところからプロに依頼して回収を行うなど、どうしてもとれないところは除外していかなければ、数字が悪くなる一方である。委員会や議会に図っていかなければならないのであれば図っていくべきである。
- (委員) 誰が処分を決めているのか。
- (事務局) 税務課で状況を調べて行っている。今日のご意見は、税務課の方へ伝えておく。

### 資料3 平成23年度行政改革進捗状況

- (委員) 効果額が0の項目の査定の仕方はどうなっているのか。
- (事務局) 例えば姫新線300万人乗車作戦の展開で説明すると、姫新線の利用増進を図るため、市民総参加の取組を進めるものであるが、市に与えた効果額がいくらかといわれると数字にはできない。こういった項目が増えているということである。
- (委員) 項目(53)人事評価制度の見直しについて説明願いたい。
- (事務局) 管理職については、目標管理制度を定めている。半期ごとに課で取り組むべき目標を持ち、達成度について自己評価、部長評価を行い手当に反映している。将来的に全職員を対象としていく予定である。
- (委員) 効果を数字では出せないのか。
- (事務局) 手当のパイが決まっており、その中で評価に応じて加算している。
- (委員) 項目(31)水洗化率の項目について、水洗化をしない人については、理由を調べて適切なアドバイスを行うようなことはしているのか。下水道課の方へ聞いて欲しい。現状を把握しておくべきである。
- (事務局) 未接続軒数は、平成22年度は195件、平成23年度は135件減っている。概ね目標の200件近くの数字をとっている。中でも川西地区の高齢者が難しいと聞いている。水洗化率は、平成21年度が89.44%、平成22年度が90.35%、平成23年度が91.05%と微増ではあるが、伸ばしている状況である。

## 議事(2) まちづくり改革プラン実施計画の見直しについて

### 資料4 まちづくり改革プラン・実施計画の策定

### 資料5 まちづくり改革プラン実施計画策定状況

### 資料6 まちづくり改革プラン実施計画策定スケジュール

- (委員) 危機管理において、津波の問題に細かい対応をお願いしたい。大きな集落では、避難所へ車で皆が避難するとスペース的に無理がある。避難場所を増やす事と、山へ避難しやすくなるように考えて頂きたい。地域の声をたくさん聞いてきている。小さい単位で避難場所を再考し、場所を示したマップを作れないか。
- (事務局) まちづくりの集いでもいろいろ意見がでてきている。平成19年3月に作った防災マップは小さくて見づらいということで、小学校単位くらいで作り直そうと着手し始めたところである。県で津波の高さの取り扱いを変更した関係で、作成がストップしていた経緯がある。危機管理課にはご意見を伝えておく。

- (委員) トップダウンではなく、下から意見を聞いて進めてほしい。現実的に可能な計画となるよう取り組んで欲しい。
- (事務局) 各自治会により避難場所等をマップに落としとしていただいたものを危機管理課も持っているので伝えておく。
- (委員) 今現在の状況で考え直して頂きたい。
- (委員) 大切なのは、地元の方に地元で計画を立てて頂くことである。地域で防災マップを作って行政側に提出して欲しい。東南海地震では、何処に何時頃津波が到着するという情報が届くので、その間に十分逃げられると思う。瀬戸内海は恵まれている。危機管理の意識を持っていただくことが大切である。
- (委員) 新しい行政の感覚で、強力に指導して行ってほしい。
- (委員) 自主防災組織の見直しをしなければ意識が薄れてきている。行政主導でやってほしい。
- (委員) 4mという津波の想定がおかしい。今までにきたことがあるのか。
- (委員) 揖保川が増水して、浸水したことがある。
- (事務局) ボトムアップでやってほしいという意見は承る。
- (委員) よく自治会の意見を吸い上げて欲しい。
- (委員) 空家対策をこれからやって行ってほしい。治安が悪くなるなど危険が多い。
- (委員) 6月議会でも質問が出ていた。市はこれから考えていくところである。
- (委員) 議会では、たつの市は全国的にみると比較的少ないという数字が出ていた。
- (委員) 空家は個人の所有物で対策が難しい。新たな法律が必要と思われるが、市としても考えているのか。
- (事務局) 今年度の新規事業として考えている。
- (委員) 生活保護の問題は担当課ではどのように強化しようとしているのか。
- (事務局) 本市は、他市と比べて格段に生活保護が少ない。議会でも答弁させて頂いている。

### 議事(3) その他

#### 資料7 行政改革に係る年間事業計画

今年度行政改推進室の事業について説明

本龍野駅観光交流施設の指定管理期間の更新方針について説明

- (委員) 自立のまちづくり事業で、山の上に避難所を作りたいとした場合、限度額30万円ではできない。金額について増額できないのか。
- (事務局) 避難所の新設については想定していないので、今後考えていきたい。
- (委員) 行政側でやってもらえるのであればよいが。
- (事務局) 里山整備活動については上限30万円で、その他活動に応じて限度額を決めている。年度ごとにある程度の修正を加えながら進めている。農林水産課、危機管理課と検討してもらいたい。
- (委員) 自立まちづくり事業のパンフレットはどのように配布しているのか。
- (事務局) まちづくりの集い、自治会、婦人会の総会及び4月の広報等でお知らせしている。

